

広
報

HIGASHIMIKAWA

ひがしみかわ

豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市・設楽町・東栄町・豊根村



vol.

06

2017.12

ものづくり王国 東三河が創る未来

主な内容

平成28年度 一般会計決算の状況
消費生活だより
介護保険だより
東三河広域連合議会 議会報告

東三河広域連合

東三河広域連合は、東三河8市町村で構成される特別地方公共団体です。

ものづくり王国 東三河が創る未来

科学技術の進歩は私たちの暮らしを豊かに便利にしてくれる
わくわくする未来のなかに東三河の技術が生きている

ものづくり王国 東三河が創る未来 ①

チーム蒲郡で挑む10センチの衛星プロジェクト

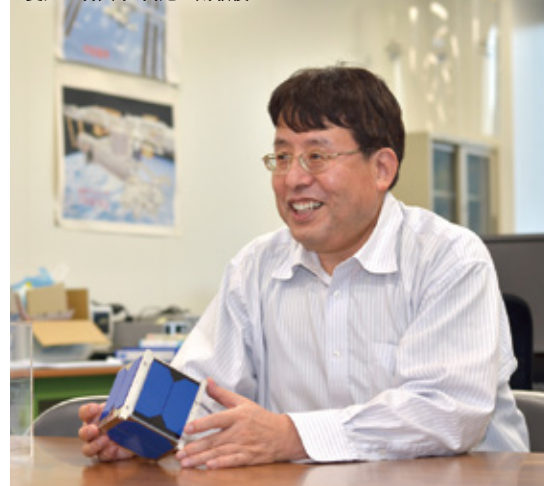
手のひらから宇宙へ
科学技術の進歩が
宇宙を身近に

今年5月、愛知工科大学の西尾正則教授が発起人となり、10センチ立方の超小型衛星開発に取り組むプロジェクトが蒲郡で始まった。この衛星には、超高性能のLEDライトと魚眼カメラが搭載され、衛星自体が肉眼でも観察できる「人工の星」として発光するほか、宇宙からの映像を地球に送れるようになる。将来的に同様の超小型衛星を1000個ほど打ち上げることで、より詳細で正確な天候予測も可能になるという。設計や制御基板の製作は西尾教



授と学生たちで行うが、衛星に使うフレームやパーツを「チーム蒲郡」で製作することに。地元企業の技術力の高さをアピールするとともに、ものづくりに携わる中小企業の活性化、モチベーションアップを図ることも狙いだ。愛知工科大学と地元企業・団体、蒲郡市によって設立された「がまごおり産学官ネットワーク会議」の声かけにより、最終的に条件の合致した7社がプロジェクトに参加。現在は耐久性試験にむけて、エンジニアリングモデルの製作を行っており、年度内にはフライトモデルを完成させる予定。そしていよいよ2018年度中に種子島宇宙センターから打ち上げられるH-IIAロケットに格納され、宇宙へと飛び立つ。

愛知工科大学 西尾正則教授





(株)加藤カム技研 加藤誠紀社長



(株)蒲郡製作所 伊藤智啓社長

がまごおり産学官ネットワーク会議 超小型衛星部会参加企業

(株)蒲郡製作所、(株)加藤カム技研、(株)飯島産業、
(株)三協、(株)中川製作所、(有)細井鉄工所、
飯島精密工業(株)

愛知工科大学 蒲都市西迫町馬乗50-2 ☎0533-68-1135

企業同士が連携して挑む 日本のものづくりの未来

今回の衛星プロジェクトにおいて、リーダー的な存在として参加企業をまとめ、引っ張っていく役目を果たしているのが、蒲郡製作所の伊藤智啓社長だ。金属加工、特にアルミの微細加工技術が得意で、トヨタ自動車やグーグルなど名だたる大企業も取引先に名を連ねる。もともとJAXA(宇宙航空研究開発機構)の衛星や国立天文台の電波望遠鏡

の部品を製作するなど、宇宙との関わりがあった同社。しかし今回の衛星プロジェクトにおいては、宇宙事業初挑戦となる、自社以外のサポート役に徹したという。そこにはこの貴重な経験を、参加企業と共に味わいたいという想いと、東三河の製造業全体に対する危機感がある。「経験豊かな技術者の海外流出で、中国などの工業新興国の技術力が格段に上がっています。またAI(人工知能)の進化により、どこで部品を作ろうが変わらない、そんな時代がやってきます。各分野に特化した企業同士が連携し

ネットワークを組む必要があります。一社だけが生き残っても意味がない。今回集まった企業チームで新しいことを始めたい」と話す伊藤社長。その目は、また新たな未来を見据えている。

依頼は絶対に 断らない ものづくりに かける情熱

衛星プロジェクトに

において、立方体の衛星本体6面のうち、最も技術的に難しい2面の加工を受け持ったのが加藤カム技研だ。プロジェクト参加の打診を受けた際の気持ちを、代表である加藤誠紀社長は「まず宇宙と聞いてわくわくしましたね」と話す。創意工夫をモットーとし、依頼は断らないという社風に加え、宇宙に興味を持っていた社員がやる気を見せてくれたことで、宇宙事業への挑戦を決めた。

いざやると決めたが、アルミの一種であるジュラルミンから削り出し、厚さ1.5ミリの金属板に複雑な凹凸を施す加工技術は難しく、また、実際に部品同士を組み合わせると、図面上では予測できないほんのわずかな反りやゆがみが生じてしまう。宇宙空間ではその狂いが致命傷になるため、試行錯誤を繰り返して、試作品の完成までこぎ着けた。そこには通常業務が終了した後遅くまでこつこつ頑張る社員の姿があったという。「ものづくりは日本の基礎です。若者が興味を持って取り組める面白いチャレンジをしていきたい」と加藤社長。今まで培ってきた知識や技術を生かし、単に便利だけではなく、世の中の役に立つ仕事に携わっていきたいと話す表情に、もの

づくりへの情熱と誇りを感じた。

宇宙から届くもの 地域を照らす希望の光

衛星プロジェクトの成功は、地元企業の技術力の高さを示すだけでなく、地域の人たちに、ふるさとを誇りに感じてもらえる大きな出来事となるだろう。子どもたちのなかから、将来のものづくりの担い手が現れるかもしれない。10センチの立方体のなかには、開発者、技術者が培ってきた知識と技術の結晶と、多くの人の夢と希望が詰まっている。

(株)蒲郡製作所

蒲都市御幸町28-10 ☎0533-68-1155

南米チリでの宇宙観測プロジェクト「アルマ計画」にも参加。高い技術力はもちろん、依頼内容の一步先を行く創造力、提案力が多いクライアントの信頼を得る。



(株)加藤カム技研

蒲都市金平町宮前7-2 ☎0533-57-6221

産業機械関連のカムをはじめ、自動車関連部品を中心とした試作から小ロットをメインに受注するものづくり企業。はばたく中小企業・小規模事業者300社に選ばれる。



ロボットが広げる ヒトにやさしい未来

人に付き添う、人を見守る サービスロボットの研究

車の自動運転技術向上や、ピザの宅配ロボットの試験走行など、人工知能、ロボットに関するニュースを目にする機会が多くなった。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、各会場までのバスやタクシーの移動を自動化しようという試みも進んでいる。私たちの生活のなかに、ロボットが当たり前のように活躍する未来がもうすぐそこまで来ている。

豊橋技術科学大学の三浦純教授の研究室では、人の生活をサポートするサービスロボットの研究を行っている。研究には大きく分けて2つのテーマがあり、一つは人に「付き

添う」、もう一つは人を「見守る」ロボットで、前者は例えば旅行の際にスーツケースを担いで後をついていくような、主に屋外での活動、後者は部屋の温度や照明の管理、安否確認など、家の中での活動を想定している。

付き添いロボットは、まず自分が付いて行くべき対象とその他の人を区別するという大前提があり、混雑する場所でも追従すべき対象を見失わず、かつ障害物を避けて走行しなければならぬ。人間が無意識に行っているこの動作を、ロボットに教え込むことは気が遠くなる作業のように思えるが、大学構内や展示会場などでの実証実験を重ねて、ほぼ想定する段階にまで精度があがっているという。しかし、「95%は付き添うことができたとしても、5%は人のサポートが必要」と三浦教授は言う。逆に言えば、わずかな人のサポートがあれば、荷物を持つて後を付いて来てくれる自動走行ロボットが実用化できるまで研究は進んでいる。

気づかい、思いやりを ロボットにどう教えるか

見守りロボットは、高齢者の单身



豊橋技術科学大学 三浦純教授

思いやりに近い感覚をロボットに学習させる。「とりあえず思いついたらやってみます」と三浦教授。研究室の学生たちと自由な発想のもと意見を出し合い、時には屋内、時には屋外で様々な実験を行っている。研究の成果を応用し、昨年からは愛知県のプロジェクトで、ビニールハウスの中を動き回る農業のサポートロボットを手掛けている。「あくまでロボットは人を助けるものです。全てをロボットに任せられるのではなく、人とロボットの間にもやりとり、コミュニケーションが必要です」と三浦教授は話す。ロボットが良きパートナーになる、そんな便利な未来が待っている。

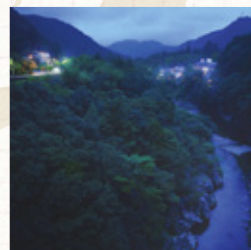
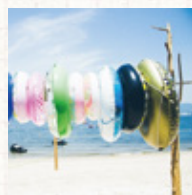
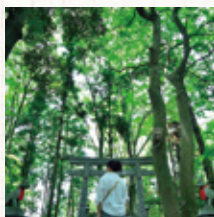
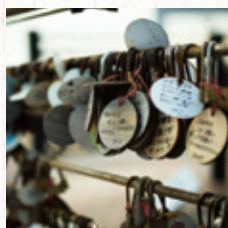
豊橋技術科学大学

豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 ☎0532-47-0111



お知らせ

東三河のイベントやニュース、
広域連合からのお知らせなどをお届けします。



Topics

東三河公式Instagramはじめました!



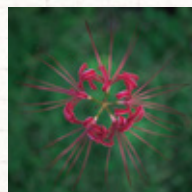
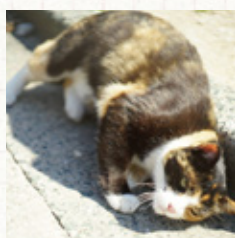
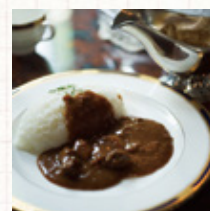
@higashimikawa

Follow me!

東三河公式Instagramではフォトジェニックな写真で東三河の隠れた魅力を発信中!

あなたのおススメも「#ひがしみかわ」を付けて投稿してください。

投稿していただいた写真もピックアップして紹介いたします!



●ここからInstagramをチェック! ▶



●facebookでも情報発信中▶



Topics

東三河広域連合で働きませんか?

東三河広域連合では、下記職員を募集しています。東三河を盛り上げるために一緒に働きませんか?

1

平成30年度 東三河広域連合 消費生活相談員募集

- 募集人員 若干名
- 業務内容 消費生活相談業務など
- 勤務地 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市の消費生活センターのいずれか
- 勤務時間 28~31時間/週または6時間/日で2~3日/週
- 報酬 月額 221,600円(31時間/週)など
- ※その他、勤務条件等については、募集要綱をご覧ください。
- 募集要綱などの配布
東三河広域連合消費生活課(豊橋市役所安全生活課内)
※ホームページ(<http://www.east-mikawa.jp/>)からもダウンロード可
- 申込締切 12月25日(月)までに申込書など必要書類を直接又は郵送で広域連合消費生活課まで
- 連絡先 東三河広域連合消費生活課 電話:0532-51-2306



2

平成30年度 東三河広域連合 非常勤嘱託職員募集

- 募集人員 6名程度
- 業務内容 介護保険事業に関する庶務経理事務など
- 勤務地 豊橋市職員会館
- 勤務時間 31時間/週
- 報酬 月額 202,600円
- ※その他、勤務条件等については、募集要綱をご覧ください。
- 募集要綱などの配布 東三河広域連合総務課
※ホームページ(<http://www.east-mikawa.jp/>)からもダウンロード可
- 申込締切 12月25日(月)までに申込書など必要書類を直接又は郵送で広域連合総務課まで
- 連絡先
東三河広域連合総務課 電話:0532-35-6004



平成28年度

一般会計決算の状況

【重点的に取り組んだ主な内容】

◆共同処理事務の開始

滞納整理事務として8市町村から移管を受けた高額・困難事案への納税指導を実施しました。消費生活相談等に関する事務として8市町村どこの窓口でも消費生活相談が受けられる体制を整えました。また、航空写真撮影等に関する事務を開始しました。

◆介護保険事業の開始に向けた準備

平成30年度の介護保険事業開始に向けて、第7期介護保険事業計画の検討や介護保険システムの構築を行いました。

◆新たな広域連携事業の調査研究

東三河の特産品の販路拡大や誘客に繋がるブランドショップの出店を検討するため、東三河ブランドショップ実証実験を実施し、実現性・実効性の検証を行いました。

◆東三河まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定

人口減少、少子高齢化など社会構造の変化に対し、広域連合が主体的に地方創生に取り組むため、東三河人口ビジョン及び東三河まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。

歳 入				
内 訳	現計予算額	収入済額	執行率(%)	主な内容
分担金及び負担金	6億6,746.4万円	6億424.2万円	90.5	構成市町村からの負担金
県支出金	6,451.9万円	5,529.1万円	85.7	愛知県からの補助金・交付金
寄附金	150.0万円	134.1万円	89.4	寄附金
繰越金	0.1万円	430.3万円	430,300.0	前年度からの繰越金
諸収入	91.6万円	24.1万円	26.3	預金利子等
合 計	7億3,440.0万円	6億6,541.8万円	90.6	

歳 出				
内 訳	現計予算額	支出済額	執行率(%)	主な内容
議会費	802.4万円	561.5万円	70.0	議会の運営経費や議員報酬
総務費	1億3,113.4万円	1億2,017.7万円	91.6	事務局運営経費や人件費
事業費	5億9,457.2万円	5億3,108.0万円	89.3	
税務事業費	8,740.8万円	7,488.9万円	85.7	滞納整理事務経費
消費生活事業費	8,512.0万円	7,354.7万円	86.4	消費生活相談や消費者啓発事業経費
福祉事業費	3億1,451.7万円	2億8,410.5万円	90.3	介護保険事業準備事務経費や社会福祉法人監査指導経費
都市計画事業費	8,299.6万円	7,607.7万円	91.7	航空写真撮影経費
広域行政推進事業費	2,453.1万円	2,246.2万円	91.6	東三河ブランドショップ実証実験経費
公債費	17.0万円	0.0万円	0.0	
予備費	50.0万円	0.0万円	0.0	
合 計	7億3,440.0万円	6億5,687.2万円	89.4	

歳入歳出差引額 854.6万円(翌年度へ繰越)

平成29年度

一般会計予算の執行状況

(平成29年9月30日現在)

収 入			
内 訳	現計予算額	収入済額	執行率(%)
分担金及び負担金	9億8,266.7万円	4億9,127.0万円	50.0
県支出金	6,142.2万円	16.3万円	0.3
寄附金	200.0万円	85.9万円	43.0
繰越金	0.1万円	854.6万円	854,600.0
諸収入	231.0万円	8.0万円	3.5
合 計	10億4,840.0万円	5億0,091.8万円	47.8

支 出			
内 訳	現計予算額	支出済額	執行率(%)
議会費	830.9万円	329.1万円	39.6
総務費	1億4,325.7万円	4,214.2万円	29.4
事業費	8億9,616.4万円	9,275.9万円	10.4
公債費	17.0万円	0.0万円	0.0
予備費	50.0万円	0.0万円	0.0
合 計	10億4,840.0万円	1億3,819.2万円	13.2

※執行率は、現計予算に対して平成29年9月30日時点で収入済または支出済となった割合です。

Vol.6

消費生活 だより

みんなで守ろう消費生活

東三河広域連合の

各消費生活センターに寄せられた

相談の中から最新の事例を紹介します。

注意ポイント

- ① 全国的に同様の相談が多発しています。
身に覚えの無いハガキには返信しない。
- ② 連絡の催促には反応しない。
連絡をすると個人情報を知られ、
不審な電話がかかるようになります。
電子ギフト券等の購入を求められ、
ギフト券番号を伝えたと不正利用されて
しまいます。

＼ 料金未納がありますよ ＼

◆ 裁判手続きをかたる ハガキに注意!



法務省管轄支局民事訴訟管理センターなどと名乗り、「未納があり、訴訟手続きが進んでいる。連絡が無ければ差し押さえをする。」とのハガキが届いた。身に覚えが無いがどうすればよいのか。

どこの窓口でも相談が受けられます

総合センター	☎ 0532-51-2305	豊橋市役所 東館12階 月～金 9:00～16:30
豊川センター	☎ 0533-89-2238	豊川市役所 北庁舎4階 月～金 9:00～16:30
蒲郡センター	☎ 0533-66-1204	蒲郡市役所 新館2階 月～金 9:00～16:30
新城センター	☎ 0536-23-6260	新城市勤労青少年ホーム1階 月・火・木・金 9:00～16:30
田原センター	☎ 0531-23-3818	田原市役所 北庁舎1階 月・火・木・金 9:00～16:30
設楽相談室	☎ 0536-62-0527	設楽町役場産業課内 毎月第2水 10:00～15:00
東栄相談室	☎ 0536-76-1812	東栄町役場経済課内 毎月第3水 10:00～15:00
豊根相談室	☎ 0536-85-1311	豊根村役場商工観光課内 毎月第4水 10:00～15:00

消費者ホットライン 》 ☎ 188 ▶ お近くの相談窓口につながります。

東三河消費生活センターでは 様々な消費生活相談を 行っています

- 商品やサービスなど
消費生活に関する相談
- 多重債務相談 など

相談者に最新の情報を提供し、アドバイスすることで自主交渉を支援するほか、必要に応じあっせんも行います。消費生活に関する疑問や苦情、不安などがあれば、ひとりで悩まず、気軽にご相談ください。

平成30年度からの介護保険者の統合に向け、平成28年度から2か年かけて介護保険システムの構築や第7期介護保険事業計画の策定などを行っています。今回は、東三河広域連合が新たに掲げる基本理念や平成30年度から実施する主な事業についてご紹介します。

介護保険 だより vol.3

東三河広域連合では、東三河地域に暮らす高齢者の方が、健康でいつまでもいきいきと暮らし続けることができるよう、また、心身の状況や環境等に応じて適切な介護サービスをいつでも、どこでも享受することができるよう、「いつまでも健やかで安心して暮らせる東三河の実現」を基本理念に掲げ、平成30年度から新たに保険者となりさまざまな事業を実施します。

基本理念

いつまでも健やかで安心して暮らせる東三河の実現

事業の実施にあたっては、これまでに8市町村が実施してきた取り組みを継承するとともに、東三河地域の高齢者を取り巻く現状分析や各種ニーズ調査結果などを踏まえた事業を展開します。

また、東三河地域では介護人材の確保が大きな課題となっていることから、東三河地域全体を対象に介護人材の確保と定着、育成に重点を置いた事業を新たに展開するほか、8市町村で同じサービスを提供できる体制整備に努めるなど、保険者を統合することにより生まれるメリットを最大限に引き出しながら事業を実施します。

介護保険施策の展開に関する保険者統合の主な効果

介護保険サービスの
選択肢の拡大

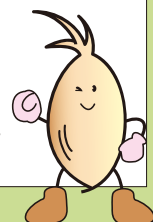
介護人材の確保に向けた
独自事業の創設

広域連携による
新たなサービスの展開

重要なお知らせ

介護保険者の統合に伴い、東三河地域にお住いの65歳以上のすべての方の介護保険被保険者証等が新しくなります。

新しい被保険者証等は、平成30年3月下旬に郵送でお届けする予定です。



東三河広域連合が平成30年度から実施する主な事業

1 シニア人材の活用促進

東三河地域の福祉専門学校と介護保険事業者、東三河広域連合が協力して、主に60代の高齢者を対象とした講座を開催し、介護の知識を有する人材を育成するなど、シニア人材の活用促進を図ります。

2 介護職員初任者研修の受講支援

介護事業所で就労するために資格を取得したい方や、家族を介護するため、または将来に備えて介護の知識を身に付けたい方、ボランティア活動などを通して地域で活動したい方などを支援するために、介護職員初任者研修を受講した方に対して受講費の一部を助成します。また、この制度を活用し、東三河地域の介護事業所で1年以上継続して勤務した方には就労加算として追加助成し、新たな介護人材の確保や定着を目指します。

3 介護事業所管理者向け人材育成支援

介護事業所の管理者等を対象とした研修を実施し、管理者としての意識や役割の重要性を認識するとともに、職員の育成や働きがいのある職場づくりを実践するための実務能力の向上を図ります。

4 グループホームの居住費軽減

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）への円滑な入居を支援するため、市町村民税非課税世帯等の低所得者を対象に、利用者負担の軽減を行います。

5 GPSによる徘徊高齢者家族支援サービスの推進

高齢者等の見守りや行方不明時の居場所を早期に確認するため、GPS等を用いた位置情報検索機器の購入に必要な初期費用の一部を助成します。

6 介護用品の購入支援

在宅で生活されている重度要介護認定者（要介護4及び要介護5の方）を介護する家族の経済的負担等の軽減をはじめ、在宅生活の継続や清潔で快適な在宅介護環境の保持を図るため、市町村民税非課税世帯等の低所得者を対象に介護用品券を給付します。

7 配食サービスの実施

地域における自立した日常生活の支援を行うため、栄養改善及び見守りが必要な高齢者に対し、週5回を限度として配食サービスを利用した際の費用の一部を助成します。

介護保険準備室
(豊橋市職員会館5階)

TEL 0532-26-8459 FAX 0532-26-8475
E-mail kaigohoken@union.higashimikawa.lg.jp

東三河広域連合議会 議会報告

8月定例会

東三河広域連合議会8月定例会が8月8日と8月9日に開催されました。平成28年度歳入歳出決算認定が審議され、原案どおり認定されました。審議された議案は次のとおりです。

【決算認定】

○平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定について

一般質問



はやかわ たかし
早川 喬俊
議員

豊川市

▼介護保険者統合について

問 住民目線での介護保険者統合のメリットについて伺う。

答 (福祉事業部長) 当該市町村のみの利用に限定されている地域密着型サービスが8市町村全てで利用ができるようになること、また8市町村で行

われる直近の介護認定審査会での認定審査が可能となることから、認定までの期間が短縮できることがあげられる。

問 被保険者証の再発行などの手続きは、引き続き各市町村窓口で対応が可能なのか伺う。

答 (福祉事業部長) 納付書の再発行や保険料の授受、被保険者証の再発行など、現在、各市町村窓口で行っている手続きは、引き続き市町村窓口で行っていく。また、住所地だけでなく、東三河地域内であればどの市町村窓口でも可能となる。



ながみ たかし
長神 隆士
議員

田原市

▼介護保険施策の展開について

問 介護保険事業におけるシニア人材の活用促進の考え方について伺う。

答 (福祉事業部長 福祉専門学校において、60代を中心とした高齢者を対象に、介護に関する知識と技術を習得できる講座を開催し、新たな介護人材の養成を図るとともに、介護保険事業者において介護職員、またはボランティアとして

活用をしていくことでシニア人材の活用促進と新たな人材の確保を図っていく。

問 サポーターバンクの設立の取り組みについて伺う。

答 (福祉事業部長) 結婚や出産により離職した介護人材や社会参加、地域貢献に意欲のある高齢者等をサポーターバンクに登録し、介護事業所の依頼に応じ紹介をする。各介護事業所において必要な業務の抽出をはじめ、介護サポーターとして必要な知識の習得のための研修カリキュラムの検討などを進める。



いとう とくや
伊藤 篤哉
議員

豊橋市

▼2020年の東京オリンピック・パラリンピックをにらんだ東三河の特徴を活かした観光振興・産業振興について

問 東京オリンピック・パラリンピック開催の季節に合わせた観光情報の発信について伺う。

答 (事務局長) 東京オリンピック・パラリンピックが開催される7月下旬から9月上旬は、手筒花火やサーフィン、海の幸といった東三河地域ならではの

の資源が多くある。こうした東三河の魅力を効果的に発信していくためには、ICTを活用し、国籍や年齢、性別といった個々のニーズに応じた情報発信をすることが重要である。

問 国内有数の農業生産を誇る東三河として農業生産工程管理(GAP)を推進する考えについて伺う。

答 (事務局長) 東三河は、香港やシンガポール、台湾への販路拡大に向けた取り組みを進めており、国内外に、この地域の農産物が安全かつ環境に配慮したものであることの認知を得るためにも、GAP認証は重要なツールの一つである。GAP認証を推進していくためには、先行取得をしている事業者の取り組みの紹介や、研修会等による働きかけの実施など、関係機関と連携して、普及啓発活動を行う必要がある。



こうさか ひでゆき
向坂 秀之
議員

豊橋市

▼介護保険事業の統合について

問 第7期の介護保険料は8市町村で統一されないのか伺う。

答 (福祉事業部長) 8市町村

統一の保険料の算出を行い、この額を基準として、8市町村ごとに第6期の準備基金残高に応じた保険料の軽減を行っていく。したがって、軽減後の第7期の介護保険料は、8市町村ごとに異なる設定となる見込みである。

問 第7期の介護保険料段階は広域連合になることで統一されるのか伺う。

答 (福祉事業部長) 保険料の所得段階及び保険料率とも8市町村で統一した設定を行う。

問 第7期の介護保険料の見込みについて伺う。



かまだ あつし
鎌田 篤司
議員

蒲郡市

▼「東三河はひとつ」を具現化するための東三河広域連合の取り組みの方向性について

問 発足して3年目になる東三河広域連合の地域での認知に

ついて伺う。

〔答〕（事務局長 共同処理事務をはじめとした事業を通じ活動を知ってもらうとともに、年2回の広報ひがしみかわの発行やホームページの開設、各種イベントへの出展などを通して認知度向上に努めてきた。その結果、徐々にではあるが東三河広域連合の存在が浸透しているものと考えている。

〔問〕 東三河広域連合の今後の方向性について伺う。

〔答〕（広域連合長）まずは介護保険事業の統一を成功させることが重要である。引き続き共同処理事務、広域連携事業、権限移譲事務の3つの取り組みを基本とし、新たな事業にも積極的に取り組むことで、誰もが真の豊かさを実感できる地域を実現するとともに、地方自治におけるトップランナーとして「成長する広域連合」を目指していく。



やまがき ゆういち
山崎 祐一
議員

新城市

▼東三河版地域包括ケアシステムについて

〔問〕 東三河版地域包括ケアシ

ステムについて「東三河版」と冠した理由を伺う。

〔答〕（福祉事業部長 東三河広域連合が保険者となり、介護保険事業を運営していくことから、既に各市町村で取り組みが始まっている地域包括ケアシステムの構築についても、8市町村が共通の考え方のもとで取り組んでいくため「東三河版」とした。東三河版地域包括ケアシステムは、全住民参加型のシステムを目指したもので、全員参加、人材育成、連携促進の3つの視点を中心として、東三河で共通の取り組みを推進していく。

〔問〕 介護と在宅医療の連携の課題と進め方について伺う。

〔答〕（福祉事業部長）在宅医療と介護の連携推進には、医療と介護のスムーズな連携が重要であるため、東三河版地域包括ケアシステムの構築に当たっては、医療と介護の円滑な連携促進のため、顔の見える関係づくりに向けた取り組みを推進していく。



すぎうら まさかず
杉浦 正和
議員

豊橋市

▼「成長する広域連合」における道路整備の必要性について

〔問〕 今後、道路整備についてどのような取り組みをしていくのか伺う。

〔答〕（広域連合長）広域連合は、道路整備についての権限、税財源等を持っていない。こうしたなかで、我々が実現しようとしているビジョンに基づき、必要な道路について国、県に理解をいただき、予算を獲得していくことが今の取り組みの柱となる。みずから道路整備をできるようにすることが究極の目標だが、まずは足元をかためる仕事をしっかりと行っていく。

▼東三河地域における救難・救助救急の在り方について

〔問〕 近隣地域との連携も含めた救難救助、救急、さらには防災のためのヘリコプターの必要性の認識について伺う。

〔答〕（広域連合長）ヘリコプターの必要性については、今後、三遠や三遠南信といった連携の中で議論をしていくテーマのひとつと考える。ただし、地域に住む人たちが優先順位の高いものと認識し、ヘリコプターに関する支出を理解いただけるかが大切であり、時間をかけてしっかりと説明

し、理解を得ることが必要となる。



やまぐち よういち
山口 洋一
議員

新城市

▼東三河広域連合介護保険事業計画について

〔問〕 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備の考え方について伺う。

〔答〕（福祉事業部長）定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、24時間365日の在宅生活を支えるサービスであり、要介護者や医療ニーズが高い高齢者に対して、大きな役割を果たすサービスである。地域包括ケアシステムを構築する上でも要となるサービスであり、各地域に拠点となる事業所の整備を図るため、5市と山間地域へそれぞれ1カ所、合計6カ所の整備を計画していく。

〔問〕 看護小規模多機能型居宅介護の整備の考え方について伺う。

〔答〕（福祉事業部長）看護小規模多機能型居宅介護は、通所を中心に訪問看護を組み合わせた包括的なサービスであり、

医療ニーズの高い居宅要介護者が安心して在宅生活を継続できるように支援するサービスである。既に豊橋市と豊川市に5事業所が整備されているが、中山間地域は未整備の状況となっている。特に山間地域には在宅サービスの整備数が少ないことや、通所、訪問、短期入所、訪問看護サービスと同時に整備することは困難であるため、複数のサービスを一体的に提供できる本サービスを1カ所計画していく。

◆常任委員会

7月21日に「福祉委員会」が開催され、第7期介護保険事業の計画等について意見が交わされました。また、10月19日に「みらい広域委員会」が開催され、東三河まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗等について意見が交わされました。

委員会資料などは、東三河広域連合ホームページ内にて順次公開します。

(<http://www.east-mikawa.jp/>)

◆お知らせ

東三河広域連合議会定例会は8月と2月の年2回開催します。

ほの国こどもパスポートって何？



東三河のマスコット「みのりん」

東三河地域に在住または在学の小中学生に配布されているカードです。対象施設の窓口で提示すると、入場料等が無料となります。

※年末年始の休業は各施設までお問い合わせ下さい。



ほの国こどもパスポートが使える施設

対象施設紹介ポータルサイトQRコード



豊橋市

- ① 豊橋総合動植物公園
- ② 豊橋市民プール
- ③ 豊橋市視聴覚教育センター (プラネタリウム)
- ④ 豊橋市自然史博物館
- ⑤ 豊橋市美術博物館
- ⑥ 豊橋市二川宿本陣資料館
- ⑦ 豊橋市青少年センター (体育室)
- ⑧ こども未来館 (まち空間)
- ⑨ 豊橋市グリーンスポーツセンター (バターゴルフ場)

豊川市

- ⑩ 豊川市ジオスペース館 (プラネタリウム)
- ⑪ 豊川市プール
- ⑫ 豊川市桜ヶ丘ミュージアム (特別企画展)

蒲郡市

- ⑬ 蒲郡市竹島水族館
- ⑭ 生命の海科学館

2018年1月1日
リニューアルオープン！
ただいま閉館中

新城市

- ⑮ 設楽原歴史資料館
- ⑯ 長篠城址史跡保存館
- ⑰ 鳳来寺山自然科学博物館
- ⑱ 鳳来ゆ〜ゆ〜ありいな (プール)
- ⑲ 作手B&G海洋センター (プール)

田原市

- ⑳ 田原市博物館
- ㉑ 吉胡貝塚資料館
- ㉒ 赤羽根文化広場 (バターゴルフ場)

設楽町

- ㉓ 歴史の里田峯城
- ㉔ ふれあい広場スイスイパーク (温水プール・トレーニングルーム・多目的ホール)
- ㉕ つくグリーンプラザ (プール・トレーニング室)

東栄町

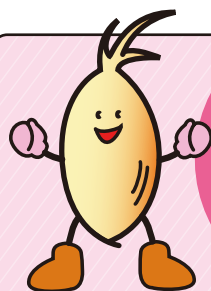
- ㉖ 東栄町民芸館・博物館
- ㉗ 花祭会館
- ㉘ とうえい温泉花まつりの湯
- ㉙ 東栄町B&G海洋センター (プール)

豊根村

- ㉚ 茶臼山高原の美術館
- ㉛ 森遊館 (プール・トレーニング室)
- ㉜ 湯へらんどバルとよね
- ㉝ 茶臼山高原スキー場
- ㉞ 湯の島温泉

冬季リフトのみ

全34施設 ※平成29年度版



ほの国スタンプラリーって何？

ほの国こどもパスポートを持って対象施設を周るとスタンプを集めることができます。集めた数にあわせて応募すると抽選でステキな賞品が当たるかも！



ステキな賞品をゲットしよう!!

東三河在住・在学の小中学生を対象に実施中！

金賞

※はすれども、みのりん賞とのW抽選

スタンプを20個集めると応募可能！

- ・Newニンテンドー3DS LL+最新学習ソフト2本
- ・天体望遠鏡
- ・図書カード3万円分 のうちからひとつ

抽選で
10名

銀賞

※はすれども、みのりん賞とのW抽選

スタンプを10個集めると応募可能！

- ・しゃべる地球儀
- ・学研まんが NEW日本の歴史別巻つき13冊セット
- ・図書カード1万円分 のうちからひとつ

抽選で
20名

みのりん賞

抽選で
50名

スタンプを5個集めると応募可能！

- ・図書カード3千円分

応募締切

平成30年3月16日(金)

(締切当日の消印まで有効です)

HONOKUNI STAMP RALLY

東三河広域連合とは…？

東三河広域連合は、これまでそれぞれの市町村で行っていた事務の共同処理を進めるほか、単独の市町村では実施が困難であった新たな連携事業、また国や県からの事務権限の移譲に向けた取り組みにも積極的にチャレンジしながら、将来にわたって「成長する広域連合」を目指しています。

東三河広域連合
総務課

〒440-0806 愛知県豊橋市八町通二丁目16番地 (豊橋市職員会館4階)

TEL: 0532-35-6000 FAX: 0532-56-1555

メール somu@union.higashimikawa.lg.jp

ホームページ <http://www.east-mikawa.jp/>